



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 林兼産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2286 URL <https://www.hayashikane.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中部 哲二
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部総務部長 (氏名) 熊澤 英俊 (TEL) 083-266-0210
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,964	△3.8	391	—	526	—	364	—
2025年3月期第1四半期	11,392	3.1	△99	—	23	△93.8	△18	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 282百万円(68.4%) 2025年3月期第1四半期 167百万円(△63.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	43.09	—
2025年3月期第1四半期	△2.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	28,179	11,863	42.1
2025年3月期	27,632	11,791	42.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 11,863百万円 2025年3月期 11,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	25.00	25.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	48,000	△2.6	950	△11.7	1,150	△15.7	800	△24.2
								94.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	8,910,000株	2025年3月期	8,910,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	461,596株	2025年3月期	461,596株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	8,448,404株	2025年3月期1Q	8,631,415株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大により、景気は緩やかに持ち直しております。しかしながら、食品業界におきましては、円安による原材料価格やエネルギーコストの高止まりなど、依然として先行き不透明な厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは昨年4月にHayashikaneだからできる『生きる力』のジャンルトップを目指し「中期経営計画Challenge2026」（2025年3月期～2026年3月期）を策定いたしました。これまでの中期経営計画の成果を基に「新たな構造改革」と称して、資本コストを意識した経営実現、収益構造の見直し、生産体制および設備の最適化、安定配当の継続、将来に向けての投資等を実行してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、収益性重視の取引に努めた加工食品や食肉の販売数量が減少したことや、在池量減少を背景に養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより109億64百万円（前年同期比3.8%減少）となりました。損益面におきましては、自社ブランド「霧島黒豚」の農場肥育成績の改善等により、営業利益は3億91百万円（前年同期は99百万円の営業損失）、経常利益は5億26百万円（前年同期は23百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億64百万円（前年同期は18百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①食品事業

食品事業におきましては、収益性重視の取引に努めた加工食品や食肉の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

これらにより、売上高は53億26百万円（前年同期比0.8%減少）となりました。損益面におきましては、「霧島黒豚」の農場肥育成績の改善等により、セグメント利益（営業利益）は1億3百万円（前年同期は39百万円のセグメント損失）となりました。

②飼料事業

飼料事業におきましては、在池量減少を背景に養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

これらにより、売上高は56億36百万円（前年同期比6.3%減少）となりました。損益面におきましては、利益率の改善等により、セグメント利益（営業利益）は5億61百万円（前年同期比180.5%増加）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は281億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億46百万円増加しました。流動資産の増加（前連結会計年度末比7億13百万円増加）は、主に現金及び預金が10億27百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が14億78百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の減少（前連結会計年度末比1億67百万円減少）は、主に投資有価証券が1億15百万円減少したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は163億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億74百万円増加しました。流動負債の増加（前連結会計年度末比4億78百万円増加）は、主にその他に含まれる未払金が7億71百万円減少したものの、短期借入金が増加したことなどによるものであり、固定負債の減少（前連結会計年度末比3百万円減少）は、主に長期借入金が増加したものの、退職給付に係る負債が6百万円、その他に含まれるリース債務が27百万円減少したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は118億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円増加しました。これは主に配当金の支払いによる利益剰余金の減少が2億11百万円あったものの、親会社株主に帰属する当期純利益を3億64百万円計上したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は42.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国際情勢を背景とした原材料価格やエネルギーコストの高騰、為替相場リスクや海外景気の下振れなど、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くと考えられます。

こうしたなか、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予想どおりに推移していることから、2025年5月15日に発表した通期の業績予想に修正はありません。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,156	2,128
受取手形及び売掛金	4,577	6,056
商品及び製品	1,983	1,936
仕掛品	2,234	2,189
原材料及び貯蔵品	2,163	3,066
その他	1,211	663
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	15,325	16,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,621	2,587
土地	1,798	1,800
その他(純額)	2,457	2,437
有形固定資産合計	6,877	6,825
無形固定資産	453	444
投資その他の資産		
投資有価証券	4,286	4,171
その他	1,606	1,609
貸倒引当金	△916	△911
投資その他の資産合計	4,976	4,869
固定資産合計	12,307	12,139
資産合計	27,632	28,179
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,527	3,015
短期借入金	4,906	6,209
未払法人税等	490	130
賞与引当金	170	136
その他	2,571	1,652
流動負債合計	10,665	11,144
固定負債		
長期借入金	1,820	1,850
退職給付に係る負債	1,878	1,872
その他	1,476	1,448
固定負債合計	5,175	5,171
負債合計	15,841	16,315

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415	3,415
資本剰余金	2	2
利益剰余金	7,252	7,405
自己株式	△246	△246
株主資本合計	10,424	10,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,366	1,283
繰延ヘッジ損益	△2	△0
退職給付に係る調整累計額	2	2
その他の包括利益累計額合計	1,367	1,286
純資産合計	11,791	11,863
負債純資産合計	27,632	28,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	11,392	10,964
売上原価	10,405	9,454
売上総利益	986	1,510
販売費及び一般管理費	1,085	1,118
営業利益又は営業損失(△)	△99	391
営業外収益		
受取配当金	70	71
その他	87	93
営業外収益合計	157	165
営業外費用		
支払利息	23	24
その他	11	6
営業外費用合計	35	30
経常利益	23	526
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	22	526
法人税、住民税及び事業税	48	115
法人税等調整額	△8	46
法人税等合計	40	162
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18	364
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	364

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18	364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	174	△81
繰延ヘッジ損益	9	1
退職給付に係る調整額	△0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△1
その他の包括利益合計	186	△81
四半期包括利益	167	282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167	282

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,369	6,012	11,381	10	11,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	411	411	—	411
計	5,369	6,423	11,793	10	11,803
セグメント利益又は損失(△)	△39	200	161	8	169

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	161
「その他」の区分の利益	8
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△271
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△99

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,326	5,636	10,962	1	10,964
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	383	383	—	383
計	5,326	6,019	11,346	1	11,347
セグメント利益又は損失(△)	103	561	665	△0	664

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	665
「その他」の区分の利益	△0
セグメント間取引消去	13
全社費用(注)	△ 286
四半期連結損益計算書の営業利益	391

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	186百万円	216百万円
のれんの償却額	—	6百万円